



2025年10月9日

会社名 株式会社 吉野家ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 成瀬 哲也
(コード番号 9861 東証プライム市場)
問合せ先 グループ企画本部 本部長 茅野 誠
電話番号 03-5651-8771

2026年2月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と実績との差異
および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025年4月10日に公表しました2026年2月期第2四半期(中間期)の連結業績予想と実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2026年2月期通期の連結業績予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年2月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異
(2025年3月1日~2025年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 111,000	百万円 3,300	百万円 3,700	百万円 2,300	円 銭 35.55
今回実績(B)	110,446	4,438	4,802	2,644	40.87
増減額(B-A)	△553	1,138	1,102	344	
増減率(%)	△0.5	34.5	29.8	15.0	
(参考)前期実績 (2025年2月期中間)	99,313	3,713	3,968	2,213	34.22

2. 2026年2月期連結業績予想の修正(2025年3月1日~2026年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 225,000	百万円 7,400	百万円 8,000	百万円 4,200	円 銭 64.91
今回修正予想(B)	225,000	8,200	8,700	4,800	74.17
増減額(B-A)	-	800	700	600	
増減率(%)	-	10.8	8.8	14.3	
(参考)前期実績 (2025年2月期通期)	204,983	7,306	7,995	3,803	58.78

3. 差異および修正の理由

当第2四半期累計期間（中間期）につきましては、雇用・所得環境の改善に加え、訪日外国人観光客数の増加に伴うインバウンド需要の堅調な推移を背景に、国内景気は緩やかな回復基調が継続しました。このような環境のもと、主幹事業である吉野家、はなまるにおける集客施策等が奏功し、連結売上高は概ね計画通りに推移しました。コスト面では、米を中心とした原材料価格の上昇が継続しましたが、増収に伴う変動費の増加を適切にコントロールしたことなどにより、営業利益、経常利益、親会社に帰属する中間純利益は前回予想を上回りました。

第3四半期以降の売上高につきましては、引き続き客数獲得に向けた各種施策を展開することで、前回予想通りに推移するものと見込んでおります。一方、コスト面ではさらなる原材料価格の上昇が見込まれており、収益に影響を受ける見通しです。しかしながら、当第2四半期（中間期）の実績と今後の収益見通しを踏まえ、2026年2月期通期連結業績予想を上記のとおり上方修正することといたしました。

（注）業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上